

第3回パソコン入カスピード認定試験 練習問題 (21.2.7)
【日本語部門】

原油の価格が値上がりすることにより、ジェット機の燃料である	30
ケロシンの価格も高くなる。そこで、運賃の一部を消費者に負担し	60
てもらう方式を導入した。これが、燃油サーチャージという制度で	90
ある。航空会社は、内部的な努力をしているのだが、それだけでは	120
燃料費の値上がり分を吸収できないためだ。	141
サーチャージは、追加料金という意味である。また、国語の辞書	171
によると、航路で特別に生じた費用についての割り増し料とされて	201
いる。本来であれば、燃料経費は運賃に含まれているものである。	231
しかし、燃料価格が激しく変動することや、上乗せした額を分かり	261
やすく表示するため、通常の運賃とは別に徴収している。	288
航空運賃は、一定の範囲内で燃料価格が変動することに基づいて	318
決められている。サーチャージは、通常の運賃を上げ下げすること	348
では対応しきれない、急激な価格変動を反映させるための付加運賃	378
といえる。1997年に、国際航空運送協会（IATA）が認可し	408
たものである。	416
日本は、燃料価格の値上がりが目立ち始めた、2005年1月から	446
国内線と国際線で導入した。国内線は、翌年の4月に通常の運賃	476
を値上げしたことにより、サーチャージは廃止された。現在では、	506
国際便だけに適用されている。運航する距離が長いほど燃料を多く	536
使うため、値上げする額は高くなる。海外旅行する場合は、観光や	566
土産に当てる費用を節約しなければならない。	588
航空業界以外にも、この制度を導入する動きが広がっている。例	618
えば、農業では、ハウス栽培に使用する重油が対象である。また、	648
電力会社においては、火力発電用の原油やガス、石炭が対象とされ	678
ている。これらはすべて、商品の値段にはね返ってくる。	705
原油の価格の高騰で、私たちがその分を負担しなければならない	735
制度は大きな問題だ。それによって、海外旅行をやめたり、モノを	765
購入する機会が少なくなったりすることになる。原油の価格が安定	795
し、サーチャージを支払うことが無くなれば、海外旅行に行く機会	825
が増え、お土産もたくさん購入することができるだろう。	851

練習問題